

■ レポート・論文作成「超」実用講座 第1回：即効入門編

配付資料

仮アウトラインをスラスラ書くには

まず伝えたいことを明瞭に短く表現してみよう

— 箇条書きの主張を論理的につなげて並べるとはっきりする —

【1】仮アウトラインの構成

① 序論……レポート・論文の「導入」部分です。主に次の事柄を書きます。

- ・ 研究の背景や動機……なぜこのテーマを取り上げるのか、何が問題なのか（問題提起）など
- ・ 研究の目的……何を明らかにしようとしているのか（主張・仮説の提示）など
- ・ 研究の方法……どのような調査を行うのかなど

② 本論……レポート・論文の中心になる部分です。主に次の事柄を書きます。

- ・ 調査などの経過や結果……調査などをしてどうだったのかなど
- ・ 結果の分析……結果はどのように解釈できるかなど
- ・ 分析を踏まえた考察……目的に照らしてどのようなことがいえるかなど

③ 結論……まとめです。主に次の事柄を書きます。

- ・ 主張……問題に対する「答え」は何か（仮説は適切だったのか）など
- ・ 残された課題……やり残したこと、明らかにできなかったことなど
- ・ 今後の展望など……次にやるべきこと（やってみたいこと）など

（『情報の達人』第3巻「レポート・論文を書こう！」「第3講 事前調査と仮アウトライン（ステップ2～3）」より）

【2】仮アウトラインの見本（仁上作成：増補第二版 2011）

テーマ： クサガメ

タイトル： クサガメの意外な生態からマイペースな暮らし方を学ぼう

①序論

・研究の背景や動機（問題提起など）

新宿の路上でカメを拾った。飼っているといろいろな意外な事実がわかってくる。どういう動物なのか、どんな飼い方が適切なのか、飼うことによって、人間の生き方に役立つ教訓があるのではないかな？

・研究の目的（主張・仮説の提示など）

主張

クサガメの生態、歴史、飼育理論を整理し、誤解を明らかにし、ヒトとカメの新しい付き合い方を提案したい。

仮説の提示

- 1) カメは意外に素早い
- 2) カメは遊ぶ
- 3) カメは偏食である

・研究の方法（調査など）

文献調査

飼育体験記録の収集

ブログでの飼育体験者ネットワークによる情報収集

②本論

・調査などの経過や結果

一般に人が良く知らないカメの誤解にはこういうものがある。（カメはノロい／カメは遊ばない／カメは何でも食べる雑食性、など）

飼育法にも誤った通念にもとづくものがある（カメは水槽に入れておけばよい／カメは遊ばせなくて良い、など）

・結果の分析

カメに関する人間の常識には疑わしい面がある。
飼育法にも間違いがある。

・分析を踏まえた考察

もっとカメと楽しく付き合う方法がある。

③結論

・主張（問題に対する「答え」は何か（仮説は適切だったのか）など）

- 1) カメは意外に素早いことが確認できた。
- 2) カメは遊ぶことが確認できた。
- 3) カメは偏食であることが確認できた。

・残された課題

外国の文献調査

クサガメ以外のカメの種類についての同様の飼育実態調査

・今後の展望など

ブログの開設による飼育者ネットワークの構築と情報交換

図書としての出版による問題提起

賛同者の拡大による共同研究の推進

以上■